

■ 香川大学博物館・香川大学希少糖研究センター

「世界最初に大量生産した希少糖および分離機器」展示開始記念講演会・説明会

日 時：2012年3月17日(土)

13:00～16:00

会 場：香川大学教育学部415教室（高松市幸町1-1）

参加費：無料

参加者：(第1部) 35名、(第2部) 33名

主 催：香川大学博物館・香川大学希少糖研究センター

(第一部)

記念講演会 ～かがわ生まれの希少糖で健康になろう～

1. 希少糖を作る

何森 健・香川大学特任教授

2. 希少糖を使う

徳田雅明・香川大学希少糖研究センター長

3. 希少糖を拡げる

近藤浩二・(株)希少糖生産技術研究所代表取締役

(第二部)

世界最初に大量生産した希少糖とその分離機器の展示説明会



↑クリックすると拡大します
PDF(341KB)

讃岐三白のひとつである砂糖は、昔から香川の名産品でした。そして今、希少糖が新たな名産品に加わろうとしています。

希少糖とは「自然界での存在量が少ない糖とその仲間」です。香川大学の研究成果として十余年前に生産システムが考案され、大量に生産することができるようになりました。そして機能性を持つ食品に利用され始め、世の中に拡がろうとしています。

世界で初めて2000年頃に香川大学で成功した希少糖の大量生産で用いられた希少糖を分離精製する機器がその役目を終え、新しい機器にボタンタッチすることになりました。そこで一般の方々に広く見ていただくために、世界で初めて大量生産した希少糖と一緒に香川大学博物館に展示することになりました。

それを記念した講演会を香川大学博物館と香川大学希少糖研究センターとの合同企画として開催します。講演会終了後には、博物館において、新たに展示する機器のご説明をします。

多くの方々のご来場をお待ちしています。

■ 展示の様子



■ 記念講演会



何森 健 氏



徳田 雅明 氏



近藤 浩二 氏



■ 展示説明会

